

(公財)岡山市公園協会 中期5カ年計画 (R8～R12)

【令和8年度 目次】

1. 経営指針
2. 経営方針
 - (1)魅力あるまちづくりへの貢献
 - (2)市民生活の質の向上に寄与する公益事業の展開
 - (3)持続可能な経営基盤の構築
3. 経営モラル
4. 基本方針
 - (1)事業拡充と岡山市とのパートナーシップ強化
 - (2)市民・地域とのパートナーシップ強化
 - (3)情報発信
 - (4)組織体制の強化
5. 経営計画
 - (1)業績
 - (2)緑化推進活動
 - (3)組織編成・要員体制
 - (4)人事制度改革
 - (5)危機管理（BCP）計画
 - (6)施設管理運営方針
 - (7)法改正への対応
6. 年度別計画
 - 6-1 収支計画
 - 6-2 利用者目標

1. 経営指針

公益財団法人岡山市公園協会は、指定管理期間（令和8年4月～令和12年3月）の経営指針を

「花と緑に触れあえる豊かなまちづくりを目指し、市民と共に歩んでいきます」

とし、岡山市・地域社会・市民との協働で岡山市内の都市公園、緑の空間において良好な環境をつくとともに、その豊かさを享受できる都市づくりを目指します。

2. 経営方針

(1) 魅力あるまちづくりへの貢献

市民・地域・産業・教育機関と協働で、岡山市の特色である良好な自然環境、都市環境を活かした魅力あるまちづくりに取り組みます。

(2) 市民生活の質の向上に寄与する公益事業の展開

指定管理者として、緑化関連・体育関連施設等の適切な維持管理とともに、市民生活の質向上の場、交流の場としての活用に取り組みます。

(3) 持続可能な経営基盤の構築

公園機能や公益的な事業の持続的な運営とともに、更なる発展を実現するため、安定的な財政基盤の構築を図るとともに、公正かつ公平な事業運営をおこなうための人材の育成や内部統制の整備に取り組みます。

3. 経営モラル

○法令や条例に加え、「協会内規程・マニュアル」、「倫理規程」、「コンプライアンス規程」等の遵守

○法令や条例の理解促進に向けた職員研修、外部機関による施設点検、業務監査等の実施による、高い倫理観を有し規範を遵守する組織の構築

4. 基本方針

指定管理期間（令和8年4月～令和12年3月）における当法人を取り巻く環境や社会情勢に加え、岡山市における都市緑化・魅力あるまちづくりパートナーとしての事業活動と法人の存在価値向上に向けた協会の経営方針に基づき、中期経営目標をまとめたもの

(1) 事業拡充と岡山市とのパートナーシップ強化

① 指定管理事業の充実と拡充

○岡山市から受託する指定管理業務の確実な運営

○協会独自事業（自主事業）の展開

○岡山市の政策連携強化による公園協会の存在価値の向上

○体育施設の安心・安全な施設の提供と緑化関連施設の資源・特色を活かしたサービスの拡充

② 緑化推進事業の拡充

- 市民・地域・企業等が参画する事業の拡充
- 教育・環境分野との連携と事業の展開
- ③受託事業等の拡大
 - 協会の専門性を活かした岡山市からの事業受託
 - 岡山市の緑化政策関連事業の積極的受託
- ④収益事業の拡充
 - 収益事業の拡充による経営原資の確保
 - 緑化・体育関連等の専門性を活かした新収益事業の検討
- (2)市民・地域とのパートナーシップ強化
 - ①緑化推進リーダー・ボランティア・認定講師の育成と事業活動への参画
 - 緑化推進リーダー・ボランティア・認定講師の育成機会の充実とスキルを活かした協会事業への参画と事業計画策定への積極的関与
 - ②企業との協働・参画による緑化事業の展開
 - 企業が参画しやすい事業スキームの検討と展開
 - 企業が岡山市の緑化政策に協賛・応援を可能とする環境づくりの検討
 - ③教育・環境関連団体・機関との連携強化
 - 小中学校の学生が参画出来る事業の検討
 - 大学との学術的連携
 - 環境関連団体等との連携による相互事業化の検討
- (3)情報発信
 - ①緑化関連の取り組み成果・効果等の発信
 - 協会存在価値・認知度向上を目的とした緑化関連事業の発信
 - モチベーションアップに繋がる緑化推進リーダー・ボランティア活動の発信
 - ②専門性を活かした情報整理と学術的活用
 - 協会・協会職員の持つ専門スキル等を活かした成果の整理と積極的な発信
 - 各分野団体との連携による学術的成果の活用
- (4)組織体制の強化
 - ①経営基盤の強化
 - 持続可能な経営のための事業の点検・見直し
 - 経営資源の効率的な投下と運営
 - ②人材の確保と育成による組織の強化
 - 将来的な協会の方向性を実現する人材の確保計画と育成の充実
 - 存在価値・独自性を持つ法人に相応しい組織の構築
 - ③コンプライアンス遵守とガバナンスの強化
 - コンプライアンス遵守に向けた継続的な研修
 - 内部統制（ガバナンス）体制の整備

5. 経営計画

(1)業績

- 令和8年度以降も労務単価の上昇や、光熱水費等の上昇により引き続き厳しい経営環境となることを想定。
- 経営基盤の強化に向けた事業の見直しや経営資源の効率的投下等により、中期経営計画による年度末一般正味財産額を維持。

(2)緑化推進活動

- 緑化助成事業・緑化啓発事業は、岡山市の緑化政策に基づく緑の魅力を、多くの市民に広げることでの緑化意識向上を目的に実施。
- 緑化推進課専門チームによる緑化4施設横軸事業は、各施設の特色や職員の専門知識を活かし、多くの市民が関心を持つ企画を立案し実施。
- 緑化4施設自主事業については、各施設の特色や職員スキルなどを活用し、地域に根差した興味を引くイベントや事業を実施。
- 地域緑化推進事業は、岡山市内の緑化行政への貢献度を高め、協会の存続価値の向上を図ることを目的に、緑化推進リーダー・緑化ボランティア・協会認定講師の育成と地域活動への支援に加え、岡山市が実施する緑化関連事業イベント等に緑化推進リーダー・緑化ボランティアと協働し積極的に参画。
- 岡山市の行う事業への協力については、岡山市の緑化関連施策への貢献度を高めることを目的に、緑化推進リーダー・緑化ボランティアとの協働による緑化活動計画を策定し事業化を検討。
- 「公園等樹木点検業務（街路樹点検）」等の緑化関連事業の受託は、積極的に引き受けることで協会の存続価値の向上に繋げる。
- 緑化推進活動は、財源運用として緑化基金運用益により、実施するものと位置付けられているが、運用益のみでは必要となる事業資金の調達が困難であり、管理施設の利用料収入の振り替えにより事業原資を捻出していることから、岡山市と事業規模に見合った経費負担についての協議を継続する。

(3)組織編成・要員体制

- 業務の繁閑、危機管理（B・C・P計画）等を考慮した効果的・効率的かつ柔軟性のある組織体制とし、事務処理の合理化に向けたシステム化の推進に引き続き取り組む。

(4)人事制度

- 職群間の待遇格差、役割に応じた処遇等の人事制度や給料体系見直しによる次世代を担う人材の確保と育成。
- 「人事評価制度」を活用した適正な評価による職員の処遇。
- CDP（キャリアデベロップメントプログラム）によるローテーション人事等による職員の能力向上。
- 最低賃金アップや物価高騰等への対応や実質賃金確保に向けた給与表の随時改定による労働意欲の向上。
- 業務上、勤務時間を延長すべきパートタイム職員については、社会保険加入の義務化（月間80時間以上の勤務かつ月額88千円以上の職員）

に対応した条件で雇用することで、人件費の効果的投下に繋げる。

(5)危機管理（B・C・P）計画

- 台風や梅雨期に水害が発生する恐れがある河川敷（高水敷）や、強風による倒木等の危険性のある緑地や公園をはじめ、多くの市民が利用する施設を管理
- 地震・落雷・パンデミック・熱中症対応等を「防災マニュアル」により、気温上昇等の環境変化に応じた見直しを毎年行うことで、緊急時の適切な対応に繋げる。
- 岡山市との「災害時における避難場所の開設運営に関する協定」、「百間川工作物流出による被害防止のための緊急業務に関する協定」に加え、パンデミックや災害発生時の施設管理・運営（開館・閉館）や職員応援体制等を定めた危機管理（B・C・P）計画を策定。
- 年1回、図上防災訓練を実施し、緊急時における対応スキルの向上を図ることで、地域住民の安全確保や岡山市からの要請時のスムーズな対応に繋げる。
- 災害発生時は、危機管理（B・C・P）計画に基づき、利用者及び地域住民の安全確保を第一に岡山市、関係機関と連携・協議し適切かつ迅速に対応。

(6)施設管理運営方針

- 岡山市の魅力あるまちづくりへの貢献と協会の存続価値向上に向け、「財務」、「施設管理・事業執行」、「利用者」、「職員管理教育」の4つの視点で、「現状分析」、「課題抽出」、「仮説立案」、「実行計画」を策定した施設・課の管理運営方針により、日々の管理・運營業務に取り組む。
- 職員のスキルアップに向けた資格取得を進め、ルールに基づく施設点検等の実施により安心・安全な施設の管理・運営に繋げる。

(7)法改正への対応

- 労働環境や給与等に関連する法改正が施行されていることから、改正に関する情報収集に努め、遺漏のない対応を図る。

6. 年度別計画

6-1 収支目標

別紙参照

6-2 利用者目標

別紙参照

□（別紙）年度別利用者目標

R8～R12年度目標	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
施設利用者	利用者目標	利用者目標	利用者目標	利用者目標	利用者目標
浦安総合公園(東地区)	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000
浦安総合公園(西地区)	520,000	520,000	520,000	520,000	520,000
灘崎町総合公園	98,000	98,000	98,000	98,000	98,000
半田山植物園	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
六番川水の公園	85,000	88,000	88,000	88,000	88,000
操山公園里山センター	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000
百間川緑地管理事務所	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000
西大寺緑花公園	310,000	310,000	310,000	310,000	310,000
小計	1,489,000	1,492,000	1,492,000	1,492,000	1,492,000
駐車場利用台数	利用台数目標	利用台数目標	利用台数目標	利用台数目標	利用台数目標
半田山植物園駐車場	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
浦安総合公園駐車場(東)	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
浦安総合公園駐車場(西)	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000
小計	492,000	492,000	492,000	492,000	492,000
摘要	六番休館 11月～3月休館				